



LaLa Café 開催のご報告

～特別養子縁組について～

LaLa Cafe とは

不妊治療で辛い時や不安な時に、独りで辛い気持ちを抱え込んでいませんか？不妊治療は、時に想定していない試練が訪れる事があります。人生にはどんなことにもすべて意味があり、決して無駄な出来事はありません。まさに「一進一退」・・・『La』とは、ハワイ語で『晴れる』という意味があります。私たち看護師は、懸命に治療に向き合っているみなさまに少しでも寄り添い続けたいという思いから、患者会の名称を『LaLa Cafe』と名称しました。2013年より2020年2月までに51回開催し延べ566名の方が参加されました。患者会では、テーマに沿って看護師からお話をさせて頂き、患者様が常日頃、不安に思っていることを一緒に考え語らう機会にしております。

2020年2月29日に「特別養子縁組で家族を迎えられた方のお話を聞いてみませんか」をテーマにLaLa Caféを開催しました。

特別養子縁組についてゲストの体験談、参加者とのディスカッションを行い、その内容の一部をゲストよりご了承いただき掲載しました。

ぜひ、ご一読いただければ幸いです。

IVF 大阪クリニック 看護部

体験談

〈仮名 Aさん 40代〉

皆さん初めまして。

私は6年程前に、こちらのIVF大阪クリニックで不妊治療していました。そ
のご縁があって、今回LaLa Cafeでお話をさせて頂くことになりました。今は
主人と特別養子縁組で家族になった、小学2年生の女の子と3人で暮らしてい
ます。不妊治療から特別養子縁組の経緯など私の経験をお話しさせて頂き、少し
でもみなさんの参考になれば幸いです。

不妊治療歴は約4年で、夫が40歳の時に「出来るのなら子供が欲しい」と言っ
た事で不妊治療を開始しました。治療について調べていると「自分たちの子供を
作らなくても、里親や養子もあるよ」と話してくれたのですがその時は全く共感
できませんでした。

治療は他の病院で開始しました。卵管の癒着と卵巣嚢腫がわかりましたが、体外
受精をすればすぐに妊娠すると言われ、毎月体外受精をしましたが全く着床し
ませんでした。食事やサプリメント、漢方、整体や鍼など「不妊に良い」と聞くと
色々試しました。仕事との両立が辛い時もありました。職場の協力も得なが
ら頑張っていました。1年半が経ち、苛立ちや焦りを感じるようになりました。
夫と別の病院にも行ってみよう話し、この病院に転院することにしました。

転院後すぐに卵巣に溜まった水が子宮に流れてこないようにする為、卵管切除
の手術を受けました。手術後の移植で初めて妊娠する事ができましたが、9週目
で胎児の成長が止まってしまいました。原因は赤ちゃんの染色体異常でした。
妊娠ができたという事で気持ちを切り替えるようにしていましたが、卵子の数
が減ってきた事や受精卵が良好の状態ではないことが多くなり、着床してもま
た成長が止まってしまうかもしれないとすごく不安でした。

保存していた最後の受精卵を移植し妊娠判定の日が私の44歳の誕生日に近か
ったので、これでダメだったら色々な意味で限界ではないかと思いました。夫に
自分の気持ちを伝え何度も話し合い、これでダメだったら治療をやめようとい
う事になり、その頃から以前話していた養子縁組の事を真剣に考えるようにな
りました。

妊娠判定は残念な結果になりましたが、私達はやり切った思いで治療をやめる事、また養子縁組を考えている事を話すと、師長さんから養子縁組の具体的な話を色々と聞かせて頂きました。特別養子縁組をするには里親登録が必要なことがわかりました。里親支援機関に相談に行くと里親研修が次の日から始まるとの事でしたが、急遽参加させてもらえる事になりました。事後報告になりましたが親や親せきに、不妊治療を止めて特別養子縁組をしようと考えている事を話すと、私達の気持ちを受け入れてくれました。不妊治療をやめてから 1 ヶ月足らずで慌ただしく里親研修が始まりました。

里親研修は知らない事が多くとても興味深い内容で、乳児院や養護施設の見学もありました。乳児院では新生児から 3 歳くらいまでの子供がいて家に帰れない場合は、その後養護施設で暮らしていました。養護施設では 18 歳までの子供が生活しており、プライバシーがほとんどない環境でした。初めて知る施設にショックを受け、なんとも言えない気持ちにもなりました。色んな事情で親元から離れて暮らさなければならぬ子供達の事を知っていくと、初めは単純に「子供がほしい」と思っていました。「何か子供達の役に立つ事ができるのではないか」と考えるようになりました。子供の委託連絡があったら「年齢や性別はこだわらず、どんな子供でも絶対に私達からは断らない事」と 2 人で覚悟を決めました。また「養育里親として子供に関わる事が出来たらいいな」と意識も変化していきました。里親研修が終わりしばらくして 3 歳半の女の子を紹介されました。その子は生後 2 か月から乳児院で暮らしていることや、現在状況の説明をしてくれましたが、具体的な経緯や名前などの詳しい事は一切教えてもらえませんでした。この出会いを大切にしたいという気持ちがあり即答で承諾しました。約 1 か月後に乳児院で面会する事が決まりました。まだ顔も見た事もない子供に対して愛情が持てるのか不安もありましたが、初めて子供と会える楽しみがありました。

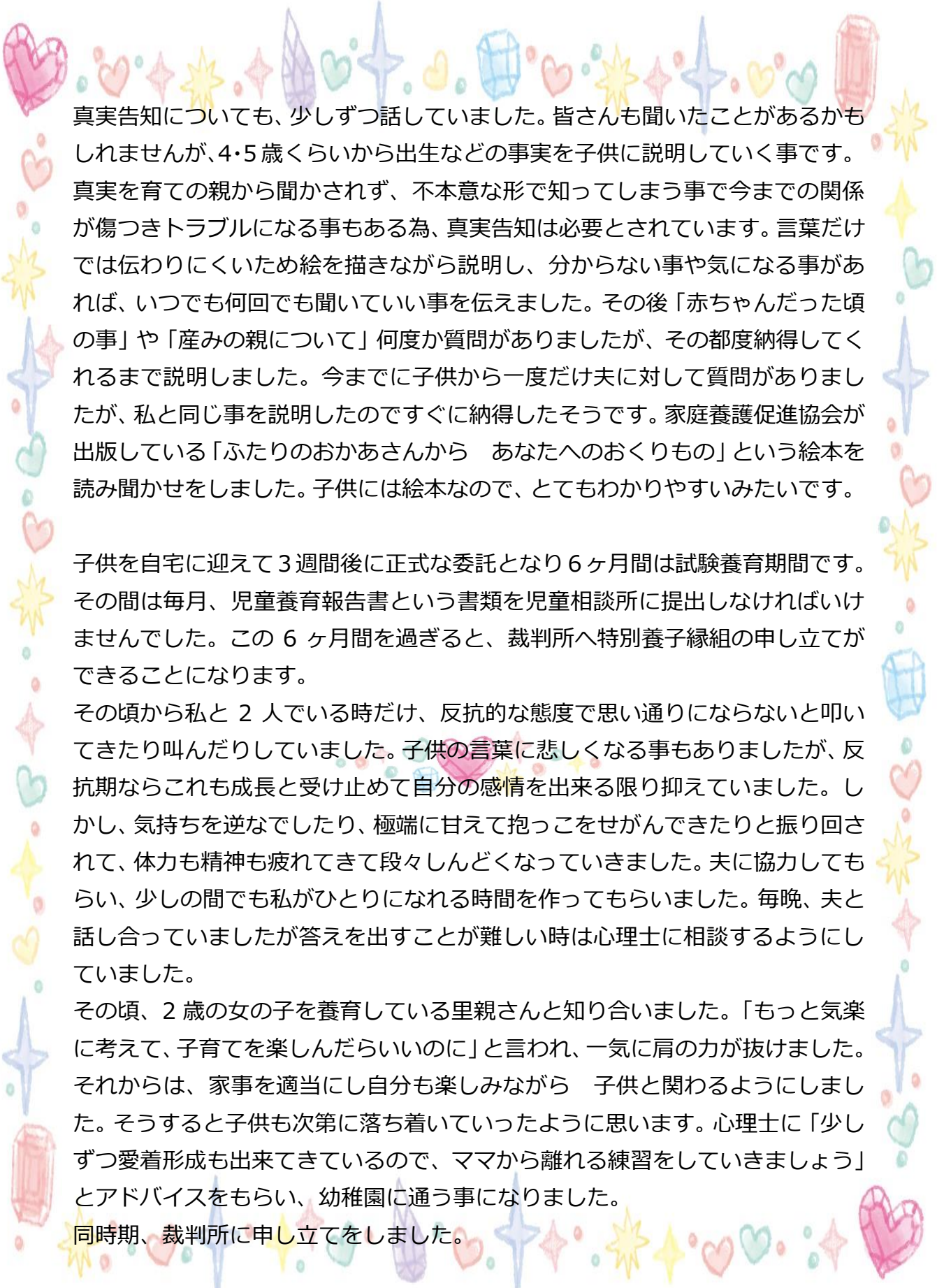
面会当日、児童相談所と臨床心理士の方も来てくれて見守りの中行われました。子供には「パパとママが会いに来る」と説明してきていましたが、保育士の抱っこから離れる事ができず私達の顔を見て表情を固く緊張している様子でした。私達が話しかけても返事はありませんでしたが、「今日はパパとママに会う為に、自分で服を選んでおしゃれをしてきました」と保育士が教えてくれ、とても嬉しく感じたのを覚えています。30 分程でしたが、私達も緊張がなかなかとれず笑

顔でその場にいる事だけで精いっぱいでした。

初めは子供に可愛いなと思うような愛情は感じませんでしたが、早く仲良くなれるようにと出来るだけ面会に行くようにしました。面会時は、笑顔でいっぱい話しかけるようにしましたが、笑顔もなく返事もなかったです。乳児院は女性ばかりで男性と接触した事がない為、夫が行くとよりいっそう表情を固くしていましたが、面会するごとに夫に対しても少しずつ緊張が和らいでいました。一週間ほど毎日会いに行くと、私の事を「ママ」と呼んでくれるようになり、私も愛おしく感じるようになりました。

面会時の事を詳しく話すと長くなりますので省略させていただきますが、育った環境が、普通の家庭生活とは全く違う生活なので、新生児の頃から色々な経験をしていません。乳児院から外にでる事に対して異常に怖がり怯えていました。私との愛着形成が築ける事を最優先にして、少しずつ色々な事に慣れさせていくようにしました。

約 1 ヶ月後に長期外泊の許可があり、生活を共にする未知の楽しみもありました。その反面育てていく事に対しての責任感と不安感も強く感じました。子供が一人増えるだけで、生活リズムが全く異なり戸惑う事もありましたが、毎日新鮮な気持ちでした。心理士からこれからは今までの 3 年半を埋める為に、私と愛着形成のやり直しをすると聞いたので、幼稚園はすぐに入園せず濃厚な時間を過ごせるように関わりました。また愛着形成が出来ていない関係でしつけや教育をしても子供には伝わらないので、危険な事以外は何でも好きなようにさせて見守っていました。家の中でも子供は私の側から離れず赤ちゃんがする後追いが始まり、家事は思うようにできませんでした。姿が見えなくなると大声で叫んでいました。また「抱っこして」と何度もせがむので欲求を全て受け入る事が体力的にしんどかったです。日中は天気良ければ、公園や散歩などして過ごし、雨も外に出た経験がなかったので、長靴をはいて水たまりで遊んだりもしました。「行きたい」と言う場所には連れていき、1 日に 5 か所の公園に行った事もありました。今 思うと丁度良かったのが、日中は誰も遊びに来てなくて好きなだけ公園を独り占めできた事でした。土日など誰かがいると、とても嫌がりました。電車も見ることがなく乗った事もなかったので、近くの線路まで見に行きました。遮断機や電車、道路でもトラックなど大きい車が通ると、音に驚き怖がっていましたが、毎日見ているうちに恐怖心はなくなりました。



真実告知についても、少しずつ話していました。皆さんも聞いたことがあるかもしれませんが、4・5歳くらいから出生などの事実を子供に説明していく事です。真実を育ての親から聞かされず、不本意な形で知ってしまう事で今までの関係が傷つきトラブルになる事もある為、真実告知は必要とされています。言葉だけでは伝わりにくいため絵を描きながら説明し、分からない事や気になる事があれば、いつでも何回でも聞いていい事を伝えました。その後「赤ちゃんだった頃の事」や「産みの親について」何度か質問がありましたが、その都度納得してくれるまで説明しました。今までに子供から一度だけ夫に対して質問がありましたが、私と同じ事を説明したのですぐに納得したそうです。家庭養護促進協会が出版している「ふたりのおかあさんから あなたへのおくりもの」という絵本を読み聞かせをしました。子供には絵本なので、とてもわかりやすいみたいです。

子供を自宅に迎えて3週間後に正式な委託となり6ヶ月間は試験養育期間です。その間は毎月、児童養育報告書という書類を児童相談所に提出しなければいけませんでした。この6ヶ月間を過ぎると、裁判所へ特別養子縁組の申し立てができることになります。

その頃から私と2人での時だけ、反抗的な態度で思い通りにならないと叩いてきたり叫んだりしていました。子供の言葉に悲しくなる事もありましたが、反抗期ならこれも成長と受け止めて自分の感情を出来る限り抑えていました。しかし、気持ちを逆なでしたり、極端に甘えて抱っこをせがんできたりと振り回されて、体力も精神も疲れてきて段々しんどくなっていきました。夫に協力してもらい、少しの間でも私がひとりになれる時間を作ってもらいました。毎晩、夫と話し合っていました。答えを出すことが難しい時は心理士に相談するようにしていました。

その頃、2歳の女の子を養育している里親さんと知り合いました。「もっと気楽に考えて、子育てを楽しんだらいいのに」と言われ、一気に肩の力が抜けました。それからは、家事を適当にし自分も楽しみながら子供と関わるようにしました。そうすると子供も次第に落ち着いていったように思います。心理士に「少しずつ愛着形成も出来てきているので、ママから離れる練習をしていきましょう」とアドバイスをもらい、幼稚園に通う事になりました。

同時期、裁判所に申し立てをしました。

幼稚園に通うようになり、他のお母さん達と話しをする機会が増えました。周りのお母さん達は、途中入園も引っ越してきたと思っているようでした。赤ちゃんの頃の話など聞かれると、乳児院で聞いた事を適当に話していました。周りのお母さん達と親しくなっていくにつれて、子供の事を内緒にしている事がしんどく感じるようになりました。いつ話そうかと思っていた所、ちょうど名前の由来を質問されたのでその時話しました。里親や特別養子縁組の事は、テレビや新聞などの情報でしか知らない感じで驚いていましたが、今ではお互いに子供の事を相談し合えるようになりました。最近は、子供と私がよく似ていると驚かれます。

年長の夏ごろから、私のお腹の上に乗って「出産ごっこ」をするようになりました。「もうすぐママから産まれるよ」「早く会いたい？」と何度も尋ねてきます。夫が横にいとと同じように聞いて、何かを確認しているようです。出産ごっこは寝る前に1ヶ月ほど毎日していました。これを境に少し変化したようで、無理にいい子を演じる事もなく「普通の子供らしくなってきた」と感じました。

3年前の5月に特別養子縁組の審判が下り、正式な家族となる事ができました。裁判は判決がでるまでに1年半程かかりました。調査員が産みの親と連絡が取れない事などがあり、調査がスムーズに進まず不安な気持ちや焦りがありました。無事に判決がでて養子縁組が成立した日は、家族になれた事を祝いました。子供の名前が入った戸籍を見せながら説明しましたが、意味があまり分かってない様子でした。毎年、子供の誕生日と判決がでた日には、「ふたりのおかあさんからあなたへのおくりもの」を読み聞かせしています。年々、理解が深まっている感じはあります。

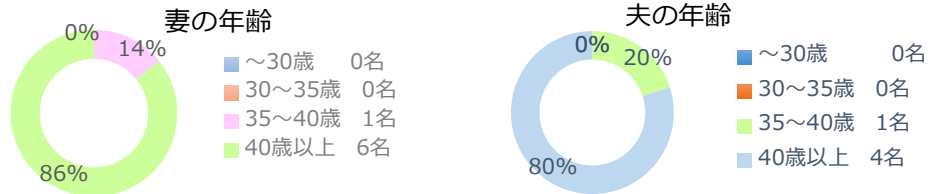
一緒に暮らすようになり今年で6年目になります。不妊治療をしていなかったら今とは違う生活をしていて、特別養子縁組や里親の事を考える事もなかっただろうと思います。今では3人での事に違和感もなく普通になっています。血のつながりがなくてもお互いの事を思う気持ちがあれば、血は関係なく家族になれると思います。家族の形に色んな考え方があると思います。夫婦2人で沢山話し合っ、お互いが納得できる道を協力して進む事ができれば良いなと思っています。

LaLa Cafe 参加者からのアンケート結果

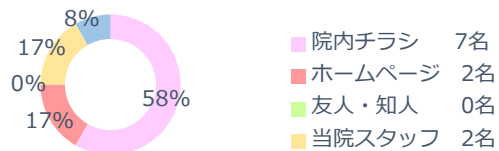
【配布】参加者 12 名（女性 2 名 ご夫婦 5 組） 合計 12 名

【回収】女性 7 名 男性 5 名 回収率 100%

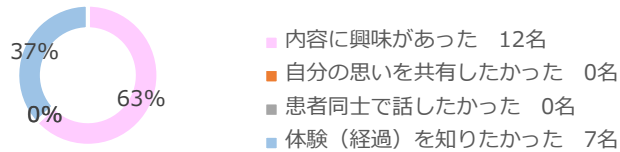
【年齢】



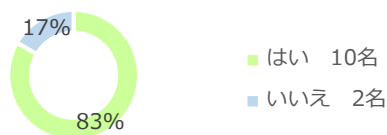
【今回の LaLa Café はどのように知りましたか？】



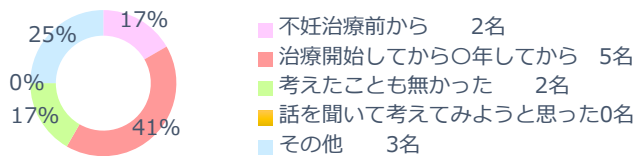
【今回の LaLa Cafe に参加した理由を教えてください（複数回答可）】



【特別養子縁組という制度を知っていましたか？】

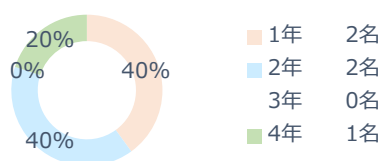


【特別養子縁組を考えた時期はいつの時期でしたか？】



※治療を開始して〇年目にくらいしてからとお答えした方にお聞きします。

具体的に何年目くらいで考えましたか？



【この会に参加されていかがでしたか？】



【本日の会に参加されて今後に役立つと思われますか？】



自由記載内容

これまでに『特別養子縁組について』参加された方の感想をご紹介します

(自由記載は一部を掲載しています。)

- ・まず知ることができて良かったです。厳しい現状はあるものの選択肢の一つとして検討したいです
- ・経験者の方が来てくださって細かいことまで教えて頂き良かったです
- ・先の見えない不妊治療から「少し光」頂きました。母になるという事は自分より大切な人が増えること、強くなる事なのだと、素敵だなあと感じました。
- ・会に参加したことで、自分の考えを改めて発見することが出来て良かったです。考えを少しでもクリアに出来て良かったです。
- ・経験者のお話は自分で調べるよりも価値があると思いました
- ・実際された方の話はネットなどと全然違い詳しく知れました。大変さも伝わりデメリットも知れたので参加して良かったです。
- ・聞いてみないとわからない事が沢山有りとてもよかった。
- ・今日はこの会に参加させて頂き有難うございました。身近に養子縁組の方がおられないので実際身近に話を聞くことが出来て良かったです。夫婦でしっかり話し合いをして今日学んだことを考えていこうと思いました。
- ・まずは夫婦でしっかり考えを一緒にしておくこと。どんな年齢、どんな子どもでも受け入れるという強い覚悟を持つておくことが大切と分かりました。実際に子育てをされる上で、工夫されている点や時間をかけて苦労された点を話して頂けて良かったです。(アンケートにご協力頂きました方々に心より感謝申し上げます)